

九州大学から世界へ。カーボンニュートラルな社会へ向けた研究活動をご紹介します!

ハロー!アリスナー

May
2017

vol.18

Hello! I²CNER

International Institute for Carbon-Neutral Energy Research



I²CNER

研究棟紹介 — Part I

低炭素社会の実現を目指した、
最先端の研究設備をご紹介します

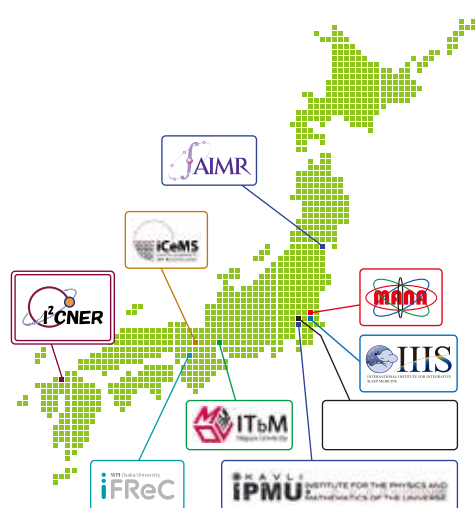




WPIとは?

「世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)」は、高いレベルの研究者を中核とした世界トップレベルの研究拠点を形成するため、文部科学省が2007年度より開始した事業です。第一線の研究者が世界から多数集まってくるような、優れた研究環境と極めて高い研究水準を誇る「目に見える研究拠点」の形成を目指しています。

参照：
 文部科学省HP http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/toplevel/
 日本学術振興会HP <http://www.jsps.go.jp/j-toplevel/index.html>



iCeMS 九州大学
 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 (iCeMS)

低炭素社会の実現に向けて、水素エネルギー利用と CO₂ の回収・貯留に関する課題を、原子レベルから地球規模の科学の融合により解決する研究拠点です。

AIMR 東北大学
 原子分子材料科学高等研究機構 (AIMR)

物理学、化学、材料化学、バイオエンジニアリング、電子・機械工学の領域を融合させ、革新的な機能性材料を創製・開発します。さらに、材料科学の統一的学理の創成のため、2011年度より数学ユニットが加わり、国際材料科学研究拠点の形成を目指しています。

iFReC WPI Osaka University 大阪大学
 免疫学フロンティア研究センター (iFReC)

様々な生体イメージング (画像化) の技術と免疫反応を予測する生態情報学を用いて、体を病原体から守る免疫システム的全貌解明を目指す新しい免疫学の研究拠点です。

MANA 物質・材料研究機構
 国際ナノアーキテクトニクス研究拠点 (MANA)

従来のナノテクノロジーを革新した材料開発の新しいパラダイム「ナノアーキテクトニクス」のもと、画期的な材料を開発する研究拠点です。

iCeMS 京都大学
 物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS)

細胞科学と物質科学を統合した新たな学際領域の創出を目標とし、幹細胞研究 (ES/iPS 細胞など) やメソ科学を発展させ、医学・創薬・環境・産業に貢献する研究拠点です。

KAVLI IPMU KAVLI INSTITUTE FOR THE PHYSICS AND MATHEMATICS OF THE UNIVERSITY
 東京大学国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU)

数学、物理学、天文学等の研究者が集まり、宇宙の始まり、進化の解明など、宇宙の謎に迫る研究拠点です。

ELSI 東京工業大学
 地球生命研究所 (ELSI)

地球惑星科学および生命科学分野の世界一線の研究者を結集し、「生命の起源に関する研究は生命が生まれた初期地球環境の研究と不可分である」というコンセプトのもと、地球、さらには地球-生命システムの起源と進化の解明に挑みます。

IHS 筑波大学
 国際統合睡眠医科学研究機構 (IHS)

「眠る」という現象のメカニズムや役割の解明を行い、睡眠障害および関連する疾患の制御を通して人類の健康増進に貢献することを旨とした睡眠研究拠点です。

ITbM 名古屋大学
 トランスフォーメティブ生命分子研究所 (ITbM)

世界屈指の分子合成力を推進力とし、合成化学者と動植物分子生物学者の連携により、生命科学・技術を根底から変える革新的機能分子「トランスフォーメティブ生命分子」を生み出す研究拠点です。「分子をつなげ、価値を生み、世界を変える」、これが我々の思いです。